

地域貢献への取り組み

社会貢献・CSR(企業の社会的責任)活動

社会貢献活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全活動など、さまざまな活動に取り組んでいます。

地域社会への貢献活動

2018年度は、地域に根ざす金融機関として重点的に実施すべき社会貢献活動の一環として子ども貧困対策事業を実施しました。

子ども居場所づくりイベント事業助成金は、沖縄県内において子どもの居場所づくり等を実施している団体が、沖縄県内の子どもたちを対象に実施するイベントに対し1団体3万円(45団体)を贈呈しました。また、18歳で児童養護施設(里親世帯を含む)を卒業する子ども達を対象に進学や就職を資金面で応援する事業として、30名に対して1人5万円の援助を実施し、沖縄県母子寡婦福祉連合会を通じてひとり親家庭の高校生を対象に奨学金・激励金(合計50万円)を贈呈しました。

この他、りゅうぎんユイマール助成会では、社会福祉活動、環境保全活動に取り組んでいる193団体に対し、約1,260万円の助成金を贈呈しました。

その他、社会福祉活動に取り組んでいる団体等へ助成する「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

「一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団」では、沖縄県の国際化を推進する事業を実施する12団体へ合計439万円の助成金を贈呈しました。

人材育成への支援活動

毎年夏休み期間中に小学5・6年生を対象として「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。16回目となる2018年度は、ゲームを通じて経済の仕組みやお金の流れ等を学習する「経済教室」や、2020年度より小学校にて導入されるプログラミング教育の先取りとして、「プログラミング教室」を開催しました。

一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団では、「りゅうぎん海外留学支援事業」(2019年度派遣)として、高校へ1名、大学院へ2名を派遣いたします。

芸術文化支援活動

沖縄県の伝統工芸の一つである紅型の振興と若手工芸家の育成ならびに紅型デザインの新しい領域の追求を目的に「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。入賞作品については、当行のカレンダーや通帳、広報物等に幅広く活用されています。

また、創立70周年の記念事業の一環として、株式会社沖縄タイムス社(代表取締役社長 武富 和彦)との共催で、「りゅうぎん琉球漆芸技術伝承支援事業」を開始しました。これは琉球漆芸における若手従事者の確保と技術の伝承、従業者が生計を立てられる収入を得られることを目的とするものです。

琉球銀行は今後も地元銀行として、沖縄県の芸術文化の発展に貢献できるように努めてまいります。

※りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年に当行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は998件、2億148.2万円となりました。(2019年3月31日現在)。



一般財団法人りゅうぎん
国際化振興財団助成金贈呈式



りゅうぎんキッズスクール



りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式